

もの知り こどもタイムズ

砂漠を緑にかえたお医者さん

①

「命の水」をひく 中村哲先生の物語

病気になったときに病院がなかったらどうしますか？ 水がないとあなたの生活はどうなりますか？



さんが病院にやってきました。

「病気を治す前に水がある」そう考えた中村先生は井戸をほり、大きな川から村に水をひくための通り道「用水路」をつくる工事までするようにしました。そのおかげで草も生えな

い砂漠に水が流れ、小麦や野菜、くだものがとれるようになりま

した。人々は食べ物に困らなくなりしました。中村先生は砂漠を豊かな自然の緑にかえ、人々の命を助けたのです。

ところが2019年12月4日、ジャララバードというところで中村先生は銃でうたれて亡くなりました。73歳でした。同じ車に乗っていたアフガニスタン人5人も亡くなりました。

日本人もアフガニスタン人もたくさんの方が泣きました。だからといって、悲しんではかりもいられません。アフガニスタンにはまだ水がないところがあります。先生の仲間たちは今も

用水路の工事を続けています。畑で野菜を育て、はちみつ作りもしています。

たくさんの方が中村先生をお手本にしています。一人でも多くの人が安心してくらせる世界になるように、それぞれが、それぞれの場所で自分にできることをがんばっています。

中村先生がアフガニスタンでしたことや、伝えたかったことを6回にわけて紹介します。

(このお話は文字を大きくしています)



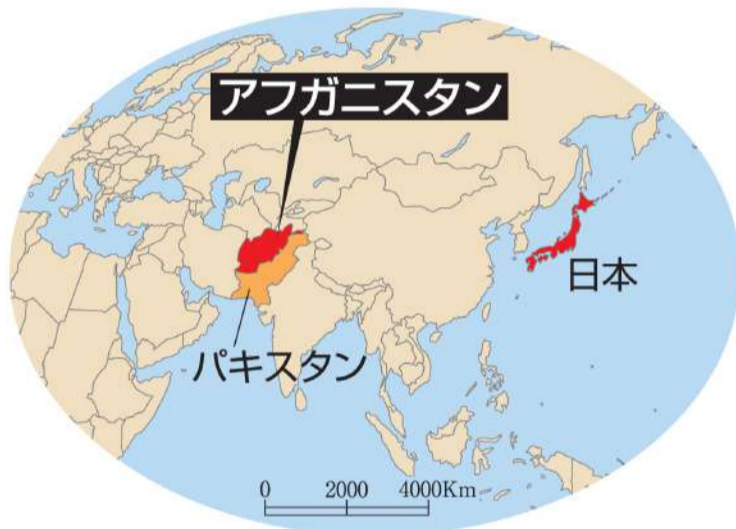
中村先生の遺体が入ったひつぎを持つアフガニスタンのガニ天統領(まんなか)。たくさんの方が中村先生を尊敬していました

2019年12月7日(共同)



いっしょに仕事をするアフガニスタンの人たちと話を
する中村先生
2014年

ガンベリ砂漠は、幅4km、長さ20kmもあります。ここを通ると迷子になり、強い太陽のひざして命をおとす人もいふない場所でした
=2008年



「ナカムラ・ムスリムヤール」という名前がつけられた赤ちゃん。中村先生が亡くなって2日あとに生まれました。お父さんのサミウラさんは「中村先生のように、人のためになることをする人になってほしい」と思い、「ナカムラ」の名前を選びました (共同)



川の水をひくための通り道「用水路」ができたおかげで、畑の野菜も木も元気に育つようになりました=2019年4月
※上と下の写真はどちらもPMS(平和医療団)提供

ダウンロードできますよ

この記事は、西日本新聞の中村哲医師特別サイトからダウンロードできます。中村先生を描いた漫画なども公開していく予定です。学校の授業や自宅学習に役立てていただければ幸いです。